八木邦靖議員
会派に属さない議員

うちぬき及び地下水を守るため
揚水計の設置義務化を！

問　経済活性化のための企業誘致は必要であるが、生活用水や農業用水の枯渇リスクを負うことがあってはならないと考える。多量に地下水を消費すると想定される事業者に対し、地下水使用量を把握するため、揚水計の設置を義務化する考えはないのか。

答　地下水保全条例において、一定規模以上の地下水採取に当たっては、事前の周辺地下水への影響調査の実施を義務付けることで、過剰な地下水採取の抑制ができると考えている。また、公共下水道を利用しない地下水採取者に対しては、効果的な節水などに取り組むためにも、水量測定器の設置を促している。これらのことから、現時点では設置を義務化する考えはないが、今後の地下水資源や地下水利用の状況などを注視しながら、引き続き調査・研究していきたい。

玉置公正議員
会派に属さない議員

利用者に充実した支援を！
産後ケア事業

問　産後ケア事業の委託先施設において、人手不足などのため受け入れが困難な場合があると聞くが、市はどのように対応しているのか。

答　産後ケアを希望しても、施設側の受け入れ体制が整わず、利用者の希望に添えない場合もある。また、双子や三つ子の受け入れには職員が通常よりも多く必要となるため、更に調整が難しくなるが、施設ともじゅうぶんに連絡を取りながら調整に努めているところである。どうしても受け入れが難しい場合は、保護者の意向を確認しつつ、訪問指導、乳幼児相談会、産前産後・子育て支援ヘルパーなど、ほかのサービスを紹介するなど、丁寧な対応に努めている。今後も委託先の追加や見直しを適宜行い、利用者の育児不安の軽減や満足度向上に努めていきたい。

決算審査特別委員会を設置しました

【委員長】佐々木　充
【副委員長】城戸　力
【委　員】監査委員（髙橋　保）を除く全ての議員

９月定例会初日（９月２日）に、令和６年度各会計決算の審査を行う決算審査特別委員会を設置し、９月29日からの３日間で、分科会ごとに現地調査及び書面審査を行いました。また、11月17日に決算審査特別委員会を開催し、12月定例会にて審査結果を報告する予定です。

現地調査

人権擁護委員候補者の推薦

人権擁護委員候補者に、次のかたがたを推薦することに異議ないものとしました。

山下広海氏
安藤恭代氏
松田眞理氏